

子どもの姿	ねらい	行事	長時間保育	地域との関わり	自己評価
<ul style="list-style-type: none"> ・戸外では、手先を使った遊びや、美容院ごっこやお店ごっこ等、子どもたちから始めることができるようになってきた。 ・さまざまな場面で、言葉で表現できるよう促すことで子どもたちも言葉で伝えようとする姿がある。 ・身支度や排泄（大便）、食事など生活面での自立が少しずつ確率されてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりひとりの体調を把握し、心身ともに健康に過ごせるようにする。 ・友だちの気持ちを受け止めながら簡単なルールのある遊びやお正月遊びを楽しむ。 ・友だちと過ごす中で自分と相手の関係に気づいて行動しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新年会7日 ・英語で遊ぼう 11・25日 ・避難訓練 16日 ・幼児集会 23日 	<ul style="list-style-type: none"> ・寒い季節になるので、衣服、室温、湿度の調節に気を配る。 ・甘えや寂しさに寄り添いながら、好きな遊びに取り組みできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外活動時に挨拶を交わしたり、公園と一緒に遊んだりと、一緒に遊んだりする。 	<p>年末年始の長期休みがあったが、インフルエンザこそあったものの生活の乱れは殆ど見られず、寧ろ出来る様になった事が多くなり、子どもたちの自発的な行動を促す事が多かった。食事も自分でおかわり等をよそえるようになり、並行して完食率も上がってきている。保育中も見守ることが多くなったがその分早い段階で保育者が介入すれば未然に防げただろうトラブルもいくつかあった。子どもたちの発達をよく見極めながらその児に応じた関わり方や距離感を大切にしていきたい。</p>
内容	環境構成	保育士の配慮		取り組みの状況と保育士の振り返り	
<p>・休み明けの園生活のリズムを整えながら、安心感をもって健康的に過ごせるようにする。</p> <p>・自分でしたい、できた、という気持ちや満足感や達成感を味わう。</p> <p>・手洗い、うがいの仕方がわかり、ていねいに行う。</p> <p>・寒さに負けず、元気に戸外で遊ぶ（たこあげ、転がしドッチボール、鬼ごっこなど）</p> <p>・友だちの気持ちを受けとめながら、ルールのある遊びを一緒に楽しむ。</p> <p>・氷、霜柱、雪など、冬の自然を見たり触れたりして楽しむ。</p> <p>・お正月に経験したことや楽しかったことを話したり聞いたりして、会話のやり取りを楽しむ。</p> <p>・しりとりやなぞなぞ遊びを楽しむ。</p> <p>・さまざまな厚さ、色の紙などの素材や用具を使い、好きなものを作ったり書いたりして遊ぶ。</p> <p>・身体を動かして、表現する楽しさを味わう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・快適に過ごすことができるように定期的に換気を行うなどして、環境を整える。 ・ポスターなどを使用しながら、手洗い、うがい、感染予防についてわかりやすく伝える。 ・天気の良い日は、戸外遊びを楽しむことができる時間を設ける。 ・子どもたちの感性や興味にあわせて遊具をそろえたり簡単なゲームや遊びのコーナーを設置したりする。 ・気温の低い日には、氷や霜柱を探しておく。 ・氷、霜柱、雪に関連した絵本などを準備する。 ・みんなの前で話をする経験ができる場所を設定する。 ・いろいろな表現が楽しめるように、さまざまな素材、廃材や用具を準備する。 ・リズムカルな音楽や危険の無いように広いスペースを確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりひとりの健康観察を丁寧に行い、体調を把握しながら対応をする。 ・自分からしようとする気持ちを大切に、必要に応じて励ましたり、援助をしたりする。 ・手洗い、うがいの大切さを知らせながら、保育者も一緒に丁寧に行う。 ・ひとりひとりの気持ちに寄り添いながら、楽しめるように配慮する。 ・子どもたちどうしの関わりを見守りながら必要に応じて遊びが発展するよう働きかける。 ・保育者も一緒に見たり触れたりすることで子どもと共感できるようにする。 ・自分から話したくなるような雰囲気をつくり、話すことを恥ずかしがる児には無理強いせず、一緒に言ったり、代弁したりしてあげることで、思いを伝えられたことを認めさせる。 ・子どものようすに合わせて用具の正しい使い方を知らせていく。 ・クラスで楽しみながら、お楽しみ会に繋げられる様に工夫をしていく。 		<ul style="list-style-type: none"> ・年始はインフルエンザや発熱で欠席する児が多く、午睡明けは窓を開けて換気を行ったり、保育中も様子を見てこまめに検温を行ったりした。 ・子どもたちからの発言や提案を受けて日中の活動などを変えたり今まで行っていた介助を少なくしたりして、達成感を感じられるようにした。 ・石鹸を使った手洗いやコップを使ったりうがい等を改めて伝え、保育者も一緒に実践しながら行った。 ・戸外の気温を見ながら散歩や午後の園庭に出て遊べるようにした。 ・正月遊びを通してカルタのルールやこまの紐の巻き方等に興味を持つ児が多かった。しばらく保育者と一緒に行っていたが次第に子どもたちだけでカルタを並べたり紐を巻こうとしたりする姿も見られる様になって来た。 ・気温が氷点下になる日が無く、水が凍る場面に中々遭遇しなかったが、吐く息の白さ等を子どもたちと見て共感する場面などがあった。 ・朝や帰りの会等で子どもからの発言を汲み取ったり、休みの日の話など会話が続きそうな話題を保育者から話しかけたりして会話を多く設けた。同時に他児が話している時は話さずに静かに聴くという事も自然と感じ取っていた様子だった。 ・ぬり絵のファイルや粘土などは子どもたちがすぐ使えるように用意し、子どもたちもやりたい時にすぐ遊べている様子だった。 ・明確な練習とすると子どもたちも緊張していたので、音楽を流し興味を持った児だけで行くと自然と子どもたちが集まり、楽しそうに身体を動かす様子が見られた。 	
<p>・おせち料理、七草がゆなど伝統的な食べもののそれぞれの意味を知らせ、関心を持つ。</p> <p>・クッキングに喜んで取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本や図鑑を準備する。 ・清潔に留意し楽しんで行えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・由来をわかりやすく話し、一緒に楽しむ。 ・達成感を味わえるよう、手を添えたり声をかけたりして、完成できるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・七草粥は食べる前に原材料を見た事により、楽しんで食べていた様子だった。 ・クッキングは感染症もあり延期するなど、衛生面に留意した。 	

養護生・情（健・人・環・言・表）